

令和3年度
学校だより
NO.6



甲府市立大國小学校

大國の子

R3. 9. 27 発行 校長：吉村 実

学校教育目標

「心豊かに、知性を磨き、たくましく
主体的に行動する子どもの育成」

～めざす子どもの姿～

- 思いやりの心を持ち、助け合う子ども
- よく考え、自ら学び 表現する子ども
- 心身ともに健康で、進んで行動する子ども

※家庭数配布

「夢」を持つ ～志(こころざし)高く～

朝の気温に肌寒さを感じ、紅葉が始まった木々や虫の音から、秋の到来を実感します。2学期も1ヶ月が経過し、いよいよ教育活動も充実の時を迎えます。

新型コロナウイルスの新規感染者が減少傾向にあるとはいえ、ワクチン接種をしていない児童にとっては、依然として感染リスクが高まっていると危機感を感じています。教育環境での予防対策「換気」「消毒」「3密回避」を徹底し、学習活動を継続していきたいと考えています。

さて、厳しい環境下での学校生活ですが、全人的な成長を促すためにも、子どもたちには、常に「夢」を持って学校生活を過ごしてほしい。よりよい成長のできる充実した生活のためには、自分で「夢を持ち目標を決める」ことが重要です。

幕末の長州藩士で教育者であり思想家でもあった吉田松陰という人がこんな言葉を説いています。

「夢なき者に 理想なし 理想なき者に 計画なし
計画なき者に 実行なし 実行なき者に 成功なし
ゆえに 夢なき者に 成功なし」

人は、夢や希望・理想があるから生きる力が湧いてくるのです。自己の「目標達成」のために真剣に取り組み、努力することに挑戦してほしい。それが、自身の大きな成長につながります。

10月9日(土) 体育学習発表会に向けて



今年度も、内容を厳選した「体育学習発表会」を9日(土)に行います。分散登校の期間も長く、練習が十分でないことをご承知いただく中で、子どもたちの頑張りを見ていただきたいと思います。(内容は、各学年のリレー及びブロックごとの表現運動のみになっております。)



学級・学年の中には、いろいろな個性を持った子どもたちがいます。体育が苦手な子、集団の中に入っていきにくい子、とってもらびれている子、みんなについていくのに精一杯の子・・・それでも、集団の中でお互いを気遣い合い、認め合いながら、協力関係を深めています。

子どもたちは、練習を通して、体力を向上させ、がんばることへの自信や協力することのすばらしさを学んでいます。ぜひ、学習の成果を認めていただくと幸いです。

＝ 保護者のみなさまへ ＝

子どもたちは「体育学習発表会」成功に向けて、全力で取り組んでいます。汗まみれの体育着や使い果たした体力で、家に戻ると疲れもMAX。ぜひ、十分な休息がとれるようご配慮の程、よろしくお願いいたします。

また、当日は、保護者参観を各家庭2名までとし、完全入れ替え制で行います。それでも、低・中・高学年とも、150名を超える参観者が予想されます。後日配布される「参観ルール」をご確認いただくとともに、子どもたちの手本となるようなスムーズな参観・入替えにつきまして、ご協力いただけますようお願いいたします。

令和3年度 体育学習発表会テーマ
「みんなでスマイル! 光り輝け三色の花」

○9月24日 人権移動教室実施（6年生）

先日、6年生が人権について学ぶ「人権移動教室」の講演会を行いました。国連NGO横浜国際人権センター会長杉藤先生を講師にお招きし、世界中の人々が人間らしく生きることについて、大切な考え方や身近な生活での心構えについて、学習を深めました。

「国境なき医師団」の活動の様子を学んだり、一人一人の立場にたった思いやりについて学習したりして、人権の大切さを意識できました。コロナ禍にあっても、お互いを思いやり、心に寄り添う活動が重要であることを再確認するよい機会となりました。



○4年生 Chromebookを活用した音楽発表への取組（模索）



コロナ禍で、「合唱」や「吹奏楽器」の使用が制限され、音楽の授業にも影響がでています。そんな中、4年生が音楽の発表への取組として、Chromebookを活用したICT合唱を模索しています。一人一人をネットワークでつなぎ、それを集合させることで「合唱」を試みているのです。今回は、屋外で距離をとり、試しにやってみたのですが・・・ネット環境やタイミングラグ等、課題がありそうです。

それでも、何とか音楽の授業に活かそうと、先生たちは様々な方法を試行錯誤し、奮闘しています。

○児童の安全を守るために

9月30日まで、秋の全国交通安全運動が実施されています。今年4月から、現在までに大国小学校では3件の自転車事故が発生しています。学校ではこの事態を大変憂慮しております。

本地区は、細い道路が入り組んでおり、見通しの悪いところが多い環境にあります。だからこそ、より一層の交通安全意識が求められるのだと感じています。自転車の乗り方について、学校でも指導しておりますが、家庭におかれましても、もう一度、家族で話し合い「安全」への意識を高めていただきたいと思います。（特に、低学年は要注意です。）

また、先日家庭に配布させていただきました、子どもの安全教育への資料は、子どもたちの安全を願い、PTAと駐在さんが連携して作成してくださいました。ぜひ、本資料をもとに、親子での対話を試みてください。事故が起こってからでは、手遅れですので・・・



○「読書の秋」

1学期末にご紹介した大國地区民生児童委員協議会より寄贈いただいた児童図書19冊。2学期の貸し出し開始から、わずか2週間で、すべて貸し出されました。大人気です。

子どもたちの読書意欲向上に、成果が上がったようです。感謝の気持ちでいっぱいです。



○今後の学校行事に向けて 「見えない未来を予測する」

コロナの感染拡大状況がどのように変化するかによって、教育活動や学校行事への取組が変わってきます。感染レベルによって、山梨県や甲府市より活動の指針が示され、活動に制限がかけられますし、学校の裁量による判断でも、「感染リスクを極力おさえる」ことが求められます。学校は、かけがえのない子どもたちの安全を担っているからです。

2学期に計画されている各学年の郊外学習、修学旅行、授業参観につきましても協議を重ね、慎重に進めています。急な予定変更も考えられますが、できる限り早めの周知を心がけていきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、ご承知おきください。

※10月20日 6年生陸上記録測定会は、分散して実施されます。

（文責 吉村 実）

